

**平成25年度**

**(第49期)**

**事業報告書**

自 平成25年 1月 1日

至 平成25年12月31日

**公益財団法人国立京都国際会館**

## 目 次

総 論	· · · P. 1
I. 法人の概況	· · · P. 2
II. 事業の概況	· · · P. 3 — P. 17
III. 役員会等に関する事項	· · · P. 18 — P. 21
IV. 庶務事項に関する事項	· · · P. 22 — P. 24
V. 法人の課題	· · · P. 25
VI. 収支状況	· · · P. 26
VII. 監査報告	· · · P. 27 — P. 28

## 総 論

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」においては、「2030年にアジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」という目標が掲げられ、多くの人や知見、投資を日本に呼び込む重要なツールとして国際会議（MICE※）が位置づけられた。また、同6月には、我が国のMICE誘致競争を牽引する都市を育成するため、MICE誘致ポテンシャルを有する都市に対して集中的な支援を行い、自律的な取組みを促していくための「グローバルMICE戦略都市」として5都市が選定され、京都もその一つに選定された。更に今後、我が国を代表する世界トップレベルのMICE都市への成長が期待されている。昨年9月には、2020年の東京におけるオリンピック開催も決定し、それにむけて日本における国際会議の開催も増加すると見込まれ、国・都市レベルでの誘致競争も益々激化するものと思われる。

しかしながら近年、世界におけるMICEの誘致取組み状況が強化され、アジア太平洋地域主要国の国際会議開催件数における日本のシェアは、この20年で5割から2割に低下している。

このような近年の環境において、当財団は、平成23年3月の公益財団法人移行以来、早や3年が経った。平成25年度は、昭和41年の開館以来、老朽化した施設の耐震改修工事の一期目として約4カ月に亘り工事を行った。会議開催件数は、当初見込みを11.9%上回ったものの、前年に比べると83.3%と落ち込み、国際会議43件、国内会議192件、合計235件となった。他方、参加人数は、27万人を超え、近年では最も多くなった。この耐震改修工事は、平成26年度も継続され、主要会議場が約5カ月に亘り利用できなくなるが、引き続き、中長期的な戦略的営業活動、広報・自主事業の活性化、組織整備と財務体質の強化等を図り、厳しい局面を乗り越えていかなければならぬ。

昨年12月末には、国による施設拡充に係る予算も計上され、当施設もようやくグローバルスタンダードに近づきつつある。国、自治体、関係機関等との連携を深め、国立の国際会議場としてのミッションを果たし、京都の発展、ひいては、日本の成長戦略の推進に寄与していく所存である。

※MICE : Meeting, Incentive, Convention, Event & Exhibition

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日

1966年（昭和41年）5月21日

### 2. 定款に定める目的

国有の会議場施設の管理の委託等に関する特別措置法に基づき管理の委託を受けた国有の会議場施設を適切に管理し、効率的に運用することにより、国際相互理解を促進し、学術、科学技術、文化等の振興及び地球環境の保全等に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 政府又は政府間機関による国際会議、学術・科学技術会議等の誘致及び運営事業
- (2) 国際交流と日本文化の普及事業
- (3) 国立京都国際会館の施設管理事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項

内閣府

### 5. 主たる事務所・従たる事務所の状況

主たる事務所： 京都府京都市左京区岩倉大鰐町422番地

従たる事務所： 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル419

## II 事業の概況

「平成25年度業務運営計画」に基づき、以下の事業を実施した。

### 1. 会議等の誘致及び運営事業

#### (1) 重要会議の誘致状況について

今年度、誘致に成功した主な重要会議としては以下のものが挙げられる。

なお、波及効果の高い大型会議の誘致については、日本政府観光局（JNTO）と連携し、オール京都体制（府・市・コンベンションビューロー）で取り組んでいる。

##### ①2017年 第23回世界神経学会議

1981年本邦で初めて国立京都国際会館で開催されて以来、36年振りに2度目の日本開催が実現するものであり、130カ国から4,000名の外国人を含む計7,000名の参加が予定されている。国を挙げての誘致に臨む韓国との熾烈な競合の末、主催者及び日本政府、地元行政、関係諸機関が一丸となった招致活動によって、京都開催の決定が結実したものである。大型国際会議の誘致において、競争の激化するアジア太平洋諸国に勝つためには、国、開催都市、主催者が一体となった誘致態勢が欠かせない。



##### ②2020年 第58回日本癌治療学会学術集会

2013年及び2015年、2017年開催に続くものであり、国立京都国際会館における開催実績が高い評価を受け続けていることの証左に他ならない。約8,000名の参加者を擁する同学会は、地元京都がその発祥であることも特徴であり、医学分野の学会の中でも、特定領域の研究者から構成される学会ではなく、癌治療という特殊性ゆえ、横断的診療部門の権威によって研究が成り立っており、また、他の医学会誘致にも波及する副次的効果も極めて高い医学会である。

## (2) 戰略的誘致活動について

### <第52回ICCA総会への参加について>

11月2日から6日まで上海にて開催された第52回ICCA総会に館長を始め館員3名が参加し、世界標準のコンベンション・ビジネスの動静やトレンド情報の収集、国際的なネットワーキングの拡大に努めた外、会館運営責任者としてのガバナンス等についても意見交換を行った。



※ICCA：国際会議協会（International Congress and Convention Association）

ICCAは50年前に組織され、約90カ国1,000団体の会議場、コンベンションビューロー、会議運営業者等が加盟する世界最大のコンベンション業界の組織で、日本では現在23団体が加盟しており、最近は観光庁や日本政府観光局(JNTO)等も積極的に関与している。

①ICCAデータベースの活用により国際会議の情報収集力を強化し、市場の動向をスピーディに把握することに努めた。

②中・大型医学会等の新規獲得のため、大学や学会事務局への訪問頻度を上げた。

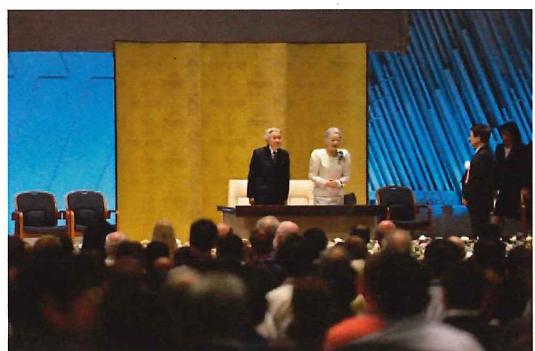
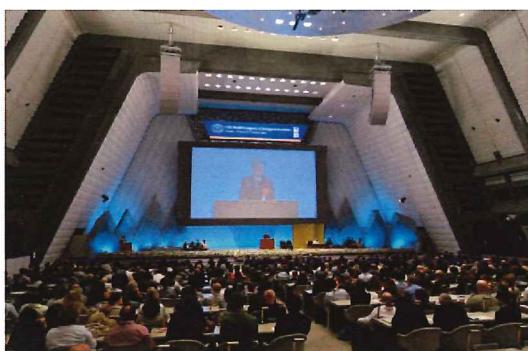
③マーケティング強化によるリピーター、固定顧客の増加を図った。

### (3) 会議開催状況について

本年度開催された会議は、235件（国際会議43件、国内会議192件）で、主要会議としては以下のものが挙げられる。

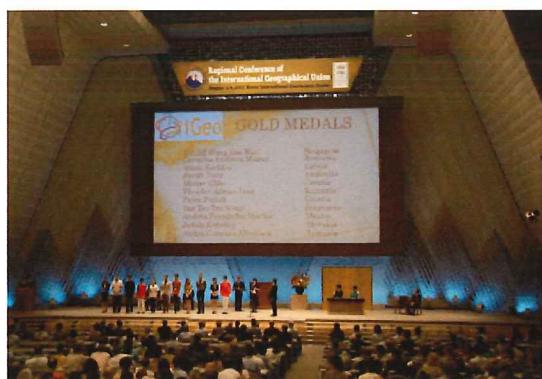
#### ①第11回世界生物学的精神医学会国際会議（平成25年6月23日～27日）

アジアで初めての開催となり、開会式は、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、世界74カ国から約2,500名が参加して開催された。今回は「脳科学から心の理解へのブレイクスルー」をメインテーマに、統合失調症、うつ病、認知症や発達障害などの研究発表と討論が行われた。最終日には市民公開講座「脳科学の知見を踏まえた精神障害・精神疾患の診断・治療・予防について」が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。



#### ②2013年京都国際地理学会議（平成25年8月4日～9日）

33年振りに日本で開催となった会議には、61カ国・地域の研究者ら約1,400名の参加者が集まった。「地球の将来のための伝統と近代知」の会議テーマのもと、地球の持続的発展と環境問題解決のため、グローバル変化と人口流動、生物多様性、自然災害など多様なトピックについて活発な討議が繰り広げられた。5日に行われた「2013年京都国際地理学会議」開会式と「第10回国際地理オリンピック」の表彰式には秋篠宮ご夫妻が出席された。



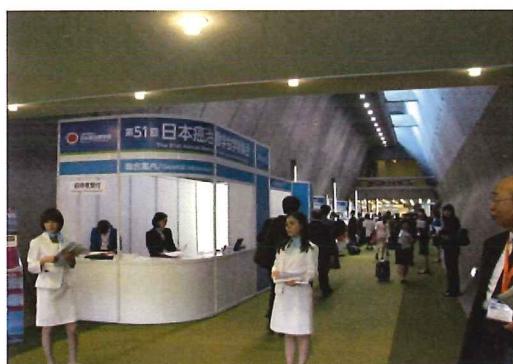
### ③第10回STSフォーラム（平成25年10月6日～8日）

10月6日から8日にかけて、科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）第10回年次総会が開催された。3日間でおよそ100カ国・地域から約1,100名が参加し、エネルギー・医療、人口・資源問題など様々なテーマについて議論が交わされた。開会式には安倍晋三首相が出席し、福島第1原発事故への対応について解決への協力を求め、「課題への対処のため、世界中から最も先進的な知見を吸収しなくてはならない」と強調した。



### ④第51回日本癌治療学会学術集会（平成25年10月24日～26日）

10月24日から26日の3日間、第51回日本癌治療学会学術集会が開催された。延べ約8,300名が参加し、基調講演やシンポジウムなど充実したプログラムで構成されたこの会議は、「Bench to Home」をメインテーマに「がん治療にかかる基礎研究・臨床研究の最新成果を広く家庭でのがん患者のケアにまでいきわたせる」ことを念頭に企画され、基礎研究の成果をいかに地域・家庭でのがん患者ケアまで広めていくのか、そのために必要なものは何かが議論された。今回は展示スペース用の特設テントが設けられ、ブース展示やポスター展示として活用された。



#### (4) 開催会議・催事一覧

##### ①主な国際会議・催事

	会議・催事名	開催期間	参加人数
1	公益社団法人日本青年会議所2013年度京都会議	1.18~1.20	13,050
2	京都大学 臨床研究中核病院構想シンポジウム	2.9	666
3	KYOTO地球環境の殿堂表彰式	2.16~2.17	1,230
4	第43回日本人工関節学会	2.22~2.23	2,000
5	ILTM Japan 2013 Opening Forum in association with JLTF	3.11	600
6	AUTM Asia 2013 Kyoto国際シンポジウム（第3回AUTM-Asiaシンポジウム）	3.20~3.22	500
7	2012 TPM Awards Ceremony	3.24~3.29	350
8	第14回国際骨髓腫ワークショップ	4.3~4.7	1,700
9	アセアン特許庁シンポジウム2013	4.13~4.16	300
10	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会	4.18~4.21	5,800
11	第85回日本消化器内視鏡学会総会	5.10~5.12	6,500
12	第53回日本リンパ網内系学会総会	5.17~5.18	492
13	第62回高分子学会年次大会	5.29~5.31	3,700
14	第19回固体イオニクス国際会議	6.2~6.7	700
15	Neuro2013(第36回日本神経科学大会・第56回日本神経化学会大会・第23回日本神経回路学会大会)	6.20~6.23	4,000
16	第11回世界生物学的精神医学会国際会議	6.23~6.27	2,500
17	CLEO-PR & OECC/PS 2013	6.30~7.4	1,469
18	第11回技術講演会	7.23~7.24	500
19	2013年京都国際地理学会議	8.4~8.9	1,431
20	第11回東アジアフォーラム	8.21	70
21	第13回アジア移植学会	9.3~9.7	1,400
22	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム) 第10回年次総会	10.6~10.8	1,100
23	第51回日本癌治療学会学術集会	10.24~10.26	8,100
24	第51回日本生物物理学会年会	10.28~10.30	1,500

	会議・催事名	開催期間	参加人数
25	第29回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11.10～11.12	3,600
26	NACE International東アジア太平洋地域国際会議 & エキスポ 2013	11.18～11.21	330
27	グローバル資本主義を超えて	12.2	500
28	JALO第5回カンファレンスin KYOTO	12.5～12.7	400
29	ATACカンファレンス	12.13～12.15	800

## ②主な国内会議・催事

	会議・催事名	開催期間	参加人数
1	第16回日本病態栄養学会年次学術集会	1.12～1.13	4,139
2	HORIBA 創立60周年式典	1.26	2,480
3	ドリームバザール/京都B級ご当地グルメフェア	2.2～2.3	73,300
4	第16回近畿薬剤師学術大会	2.2～2.3	1,500
5	第51回関西財界セミナー	2.7～2.8	600
6	「京都市・乙訓地域公立高校の新しい教育制度」説明会	2.23	2,000
7	一般社団法人茶道裏千家淡交会第50回・第51回近畿地区大会	3.16	2,000
8	京都精華大学2013年度入学式・就任式	4.1	2,000
9	国際ロータリー第2650地区2013～2014年度地区協議会	4.28	1,300
10	第55回（平成25年春）宝松庵茶会	4.29	600
11	第37回日本消化器内視鏡学会セミナー	5.12～5.13	1,200
12	京都コンピュータ学院創立50周年・京都情報大学院大学創立10周年記念式典	6.1	2,000
13	第23回関西高校模擬国連大会	6.12～6.14	230
14	第115回日本循環器学会近畿地方会	6.15	1,200
15	第9回子育て支援講座	6.16	1,576
16	第39回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会	6.29	3,000
17	乾杯のタベ2013	7.21～7.22	3,500
18	2013年全国コミュニティースクール研究大会in京都	7.3	2,000

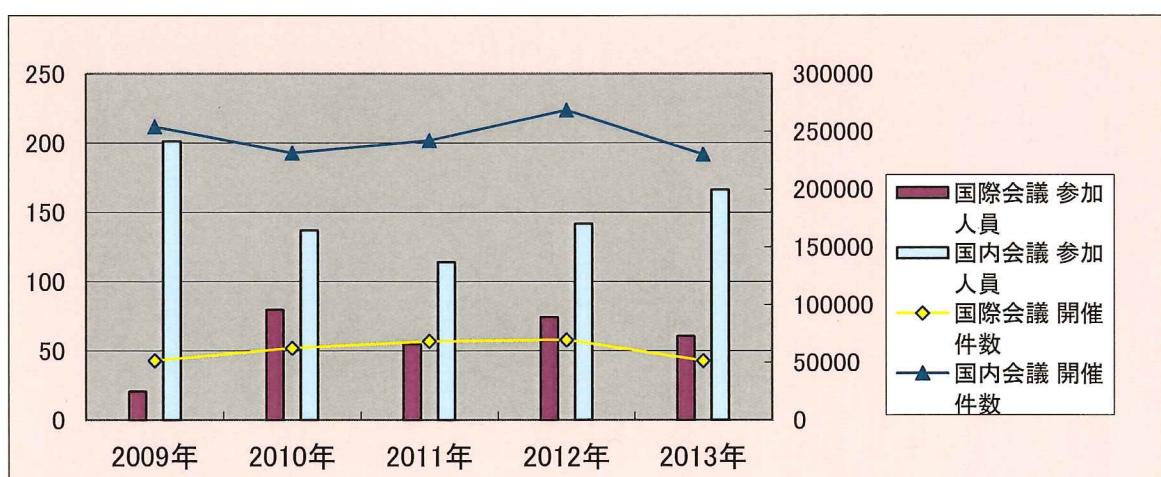
	会議・催事名	開催期間	参加人数
19	KYOTO JC Jamboree 2013～子供の夢の躍進～	8. 17	2,000
20	平成25年度全国都市監査委員会総会・研修会	8. 29～8. 30	1,500
21	第52回全国自治体病院学会	10. 17～10. 18	4,000
22	第53回近畿理学療法学術大会	11. 3	2,200
23	TKCニューメンバーズフォーラム2013in京都	11. 7～11. 8	1,030
24	日本精神分析学会第59回大会	11. 15～11. 17	1,350
25	第50回日本糖尿病学会近畿地方会第49回日本糖尿病協会近畿地方会	11. 23	2,500
26	第56回（平成25年秋）宝松庵茶会	11. 24	600
27	京都精華大学45周年記念 ダライ・ラマ14世講演会	11. 24	1,800
28	スーパー・ビジネス・フォーラム	12. 7	2,000
29	第16回京都市PTAフェスティバル	12. 14	4,000
30	日本糖尿病療養指導士認定機構主催第11回認定更新者用講習会	12. 21～12. 22	600

※主催者にて開催を「公開」されている会議・催事の中から、比較的規模の大きなものを掲載。

## (5) 会議開催状況に関するデータ一覧

### ①開催件数と参加者数

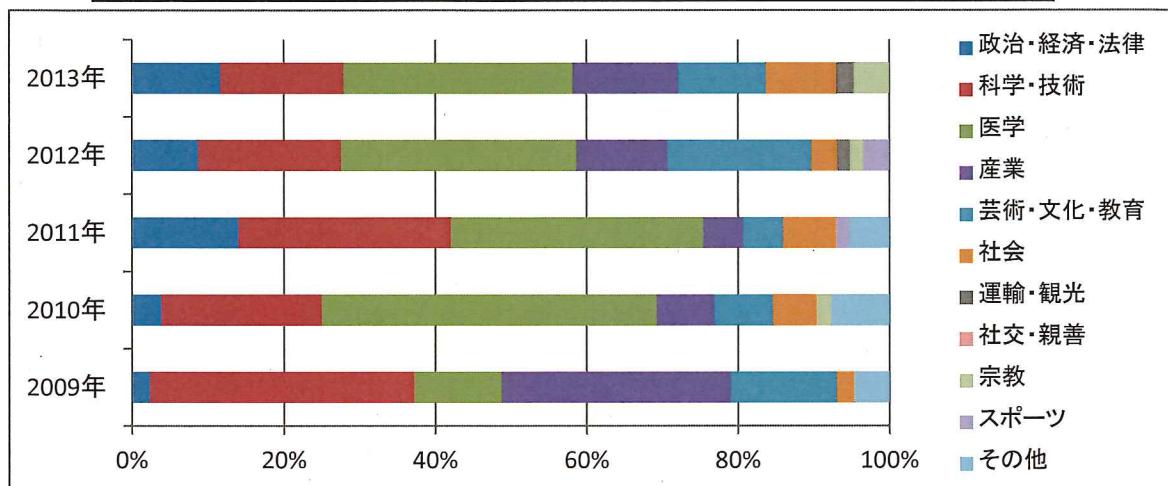
国際・国内	件数・参加人数	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
国際会議	開催件数	43	52	57	58	43
	参加人員	24,770	95,477	65,841	89,180	72,617
国内会議	開催件数	212	193	202	224	192
	参加人員	241,600	164,367	136,796	170,145	199,714
合 計	開催件数	255	245	259	282	235
	参加人員	266,370	259,844	202,637	259,325	272,331



## ②開催会議のテーマ別分析

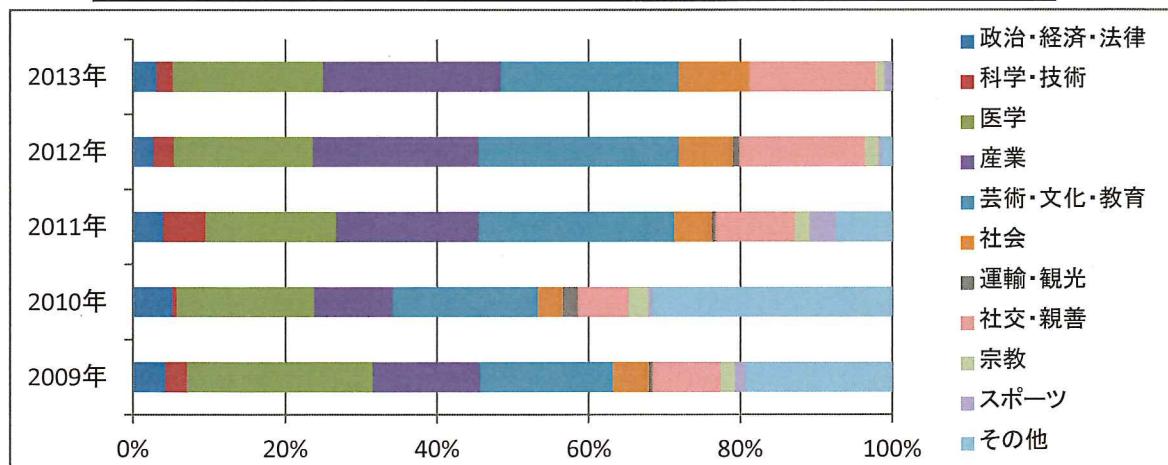
【国立京都国際会館で開催された国際会議の内容】

区分	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
政治・経済・法律	1	2	8	5	5
科学・技術	15	11	16	11	7
医学	5	23	19	18	13
産業	13	4	3	7	6
芸術・文化・教育	6	4	3	11	5
社会	1	3	4	2	4
運輸・観光	0	0	0	1	1
社交・親善	0	0	0	0	0
宗教	0	1	0	1	2
スポーツ	0	0	1	2	0
その他	2	4	3	0	0
開催件数合計	43	52	57	58	43



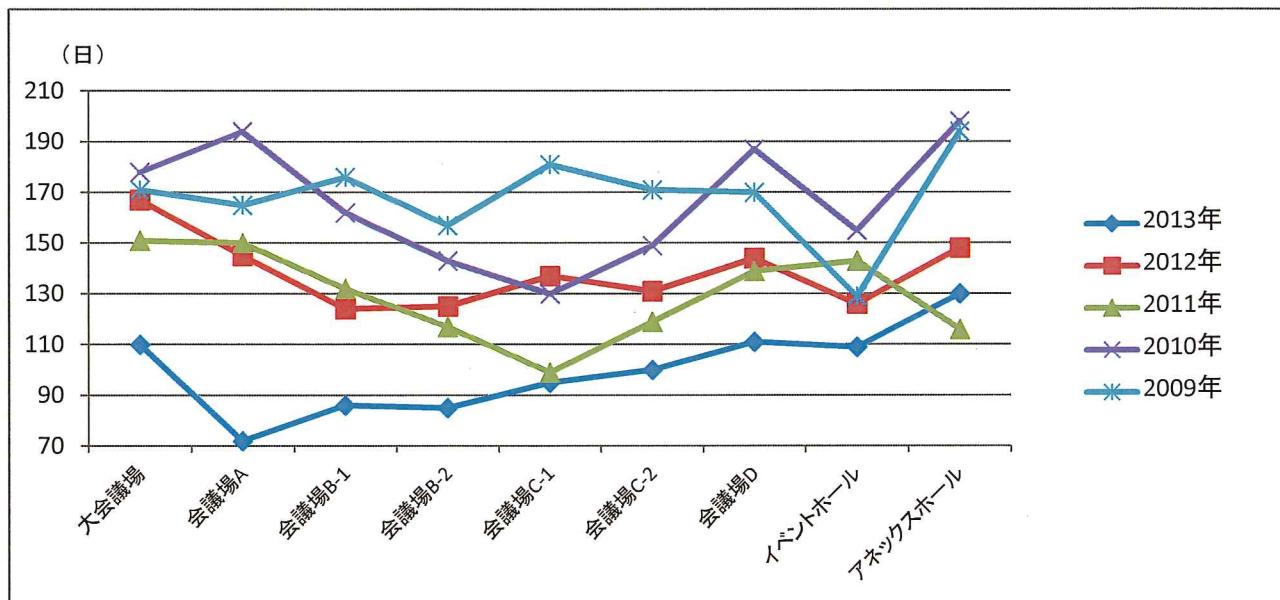
【国立京都国際会館で開催された国内会議等の内容】

区分	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
政治・経済・法律	9	10	8	6	6
科学・技術	6	1	11	6	4
医学	52	35	35	41	38
産業	30	20	38	49	45
芸術・文化・教育	37	37	52	59	45
社会	10	6	10	16	18
運輸・観光	1	4	1	2	0
社交・親善	19	13	21	37	32
宗教	4	5	4	4	2
スポーツ	3	1	7	1	2
その他	41	61	15	3	0
開催件数合計	212	193	202	224	192



### ③主な会場の稼働日数

会場名	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
大会議場	171	178	151	167	110
会議場A	165	194	150	145	72
会議場B-1	176	162	132	124	86
会議場B-2	157	143	117	125	85
会議場C-1	181	130	99	137	95
会議場C-2	171	149	119	131	100
会議場D	170	187	139	144	111
イベントホール	129	155	143	126	109
アネックスホール	194	198	116	148	130
合計	1,514	1,496	1,166	1,247	898

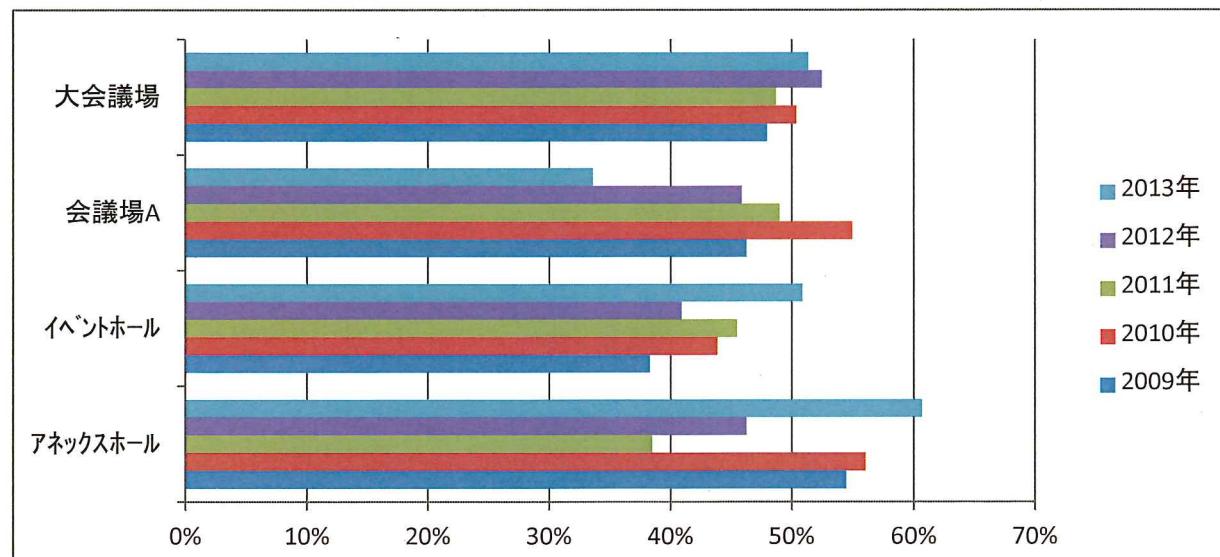


### ④主な会場の稼働率

会場名	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
	稼働日数	稼働率								
大会議場	171	48.0%	178	50.4%	151	48.7%	167	52.5%	110	51.4%
会議場A	165	46.3%	194	55.0%	150	49.0%	145	45.9%	72	33.6%
イベントホール	129	38.3%	155	43.9%	143	45.5%	126	40.9%	109	50.9%
アネックスホール	194	54.5%	198	56.1%	116	38.5%	148	46.3%	130	60.7%
4会場平均稼動率		46.8%		51.4%		45.4%		46.4%		49.2%

稼働率＝稼働日数 ÷ (365日－休館日・※工事日)

※ 2013年は稼働率算出式の分母より耐震改修工事の日数141日を減じている。



## 2. 国際交流と日本文化の普及事業

### (1) 自主企画事業の充実について

地域社会との絆の強化及び国際会館からの情報発信として今年は以下の取組を行った。

#### ①第17回乾杯の夕べ

タイトル：～響き合い♪陽気に乾杯！プローストゥ！～

開催日時：平成25年7月21日～22日

地球温暖化防止京都会議（COP3）が開催された1997年に、地下鉄烏丸線が国際会館駅まで延伸したことを記念し、真夏の2日間、夕方から会館を市民に開放し、毎年一つの国・地域をテーマに取り上げ、「乾杯の夕べ」としてガーデンパーティーを開催している。

今年は京都市・ケルン姉妹都市50周年を記念し、「ドイツ」をテーマ国とし、ドイツ料理や音楽をはじめ、“ケルン”の生活空間や文化的特徴をモノクロ全景写真で紹介した。2日間で約3,000名が参加し、打ち上げ花火なども楽しんだ。



## ②宝松庵茶会

毎年春・秋恒例の催しで、当法人が主催して開催している。

第55回春（4月29日開催）、第56回秋（11月24日開催）ともに約650名が参加した。日本の伝統文化を紹介する場を設けたり、とりわけ本年は市内の留学生を茶会に招待するなど、日本文化の交流の場となるよう様々な企画を行っている。



## ③ “The Multidimensional Results of the Global Warming” フォーラム

トルコ共和国（イスタンブル市）の私立中・高等学校Doga Schoolと国立京都国際会館が共同主催で、「京都議定書」の採択地である当館にて、生徒自らが日頃取り組んでいる地球温暖化に関する発表を行った。



### 3. 施設管理事業について

#### (1) 施設整備について

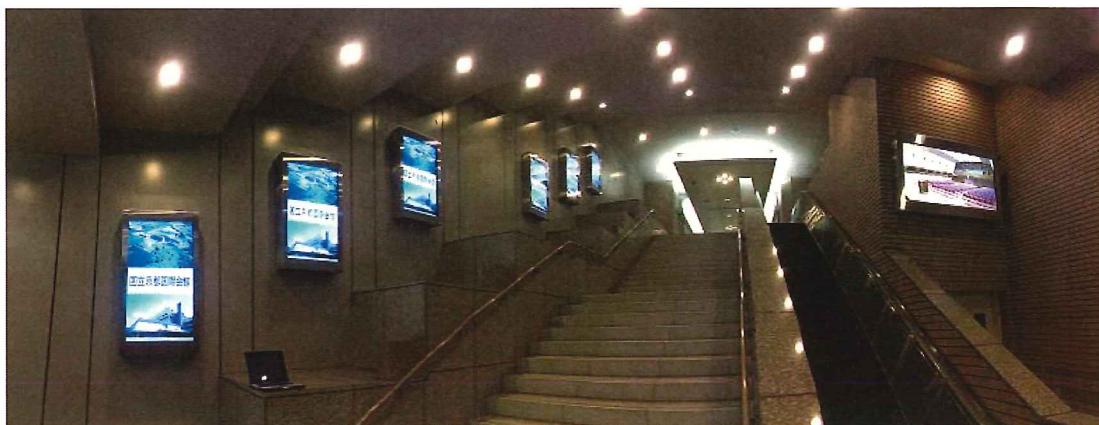
本年度の主な施設整備は、会議参加者の利便性向上や会議PRの観点から、以下のとおり実施した。

##### ①ネットワーク機器の補修

既存ネットワークシステムを構成している機器の一部を更新。

##### ②デジタルサイネージの設置

地下鉄「国際会館駅」改札口に設置されていた既存案内板及び新たに設置した8台のディスプレイをデジタルサイネージ化することにより、多様な情報提供を展開することを可能とした。



##### ③太陽光発電設備設置

京都議定書が採択された会議場として、会議における「環境配慮」の観点から、太陽光発電装置（10kW）を駐車場法面に設置。これにより、地下鉄連絡通路の照明及びデジタルサイネージ用電源として利用することが可能となった。

##### ④受変電設備継電器補修工事（財務省維持修繕予算）

受変電設備に係る保護継電器等の補修工事を実施。

## (2) 耐震改修工事について

平成25年度の主な工事箇所は以下の通りである。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| ①耐震補強工事<br>(RoomA会議場)    | 制震パネルの取付、内装改修、空調設備の改修、<br>大型（330インチ）電動スクリーンの設置等                 |
| ②天井不燃改修工事                | 1階メインラウンジ、RoomB1, B2廊下等   |
| ③外壁改修工事<br>(L棟、P棟、M棟、S棟) | PC瓦の改修、擬石面の改修、パラペットの改修等   |
| ④電気設備工事                  | 非常用発電機の更新、天井不燃改修に伴う照明器具<br>の更新（LED化）、RoomA同時通訳用赤外線放射パネ<br>ルの設置等 |
| ⑤耐震補強工事<br>(N棟/正面玄関車寄せ)  | 耐震フレーム・制震パネルの取付、屋上の防水加工、<br>擬石面の改修、パラペットの改修等                    |
| ⑥外壁改修工事<br>(S棟南面)        | PC瓦の改修、パラペットの改修等  |
| ⑦電気設備工事                  | 火災報知設備の改修、中央監視制御設備の改修等  |



なお、平成26年度にメインホール（集中工事期間6月上旬～10月末）の工事が完了すれば、建物全体において、建築基準法における新耐震基準の耐震性能が確保される。耐震改修工事に併せて、内装及び設備、外壁などの改修も実施し、機能性及び利便性を高める予定である。

## 4. その他取組み状況

### (1) 広報の充実について

#### ①広報誌の発刊

開かれた国際会館をめざして、当会館の情報発信と会議誘致のための広報誌「ICC Kyoto」を日本語版年4回、英語版年1回を発刊した。

#### ②国際会館WEBサイトとしてスマートフォン用ホームページを作成

国際会館のPRと営業活動ツールとしての位置付けとして、今般のスマートフォンの普及に対応すべく、身近で利便性を高めたコンテンツとして作成した。

#### ③小学生を対象とした国立京都国際会館の見学会の開催

未来のグローバル人材育成に貢献するため、日本で唯一の国立の国際会議場を知ってもらう機会を提供すべく、近隣の同志社小学校を対象として実施した。

### (2) 危機管理体制の強化について

#### ①緊急時対応ガイドの改定

消防計画を見直し、「地震・火災時の緊急時対応ガイド」を策定済。引き続き、「急病人、事故時」及び英語版の作成を目指す。

#### ②防火・防災特定の認定

本年11月「防火対象物点検報告特例」及び「防災管理点検報告特例」の認定を受けたことにより、安全な施設として認められた。

#### ③防火・防災資格保持者の増加

防火防災の知識を持った人材を増やすため、自衛消防業務講習を3名が受講し、全員が資格取得した。4月の組織改編に伴い、自衛消防隊組織を改編済。

### (3) 環境マネジメントシステムの導入について

京都市地球環境温暖化対策条例に基づく環境マネジメントシステムの平成26年3月段階での取得を目指し、環境改善活動を行っている。

### III 役員会等に関する事項

#### 1. 理事会及び役員に関する事項

##### (1) 理事会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第97回理事会	平成25年3月8日 午前11時～12時 会館510会議室	<p>第1号議案 平成24年度事業報告・決算の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第2号議案 諸規程・諸規則の制定及び改定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第3号議案 「理事会運営規則」の制定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第4号議案 常任理事の役員報酬等の額の決定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第5号議案 評議員会招集の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p><b>報告事項</b></p> <p>(1) 「第1回役員等候補選出委員会」の概要 (2) 会館施設拡充（ニューホール）に係る政府原案について (3) 4月実施予定の職制・人事評価の見直しについて</p>
第98回理事会	平成25年12月2日 午前11時～12時 会館510会議室	<p>第1号議案 平成26年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p><b>報告事項</b></p> <p>(1) 監事監査及び内閣府立入検査について (2) 耐震改修工事について (3) 重要会議の誘致状況及び 平成25年度夏期営業活動について (4) 規程整備及び業務改善について (5) 会館施設拡充に係る最近の状況について</p>

##### (2) 役員の異動

異動なし

五十音順

(3) 役員氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	稻盛 和夫	理事	堀木 エリ子
副理事長	村田 純一	理事	堀場 厚
常任理事	木下 博夫	理事	松下 正幸
理事	石田 隆一	理事	松本 紘
理事	井上 正幸	理事	山岡 義生
理事	上村 多恵子	理事	山田 啓二
理事	門川 大作	監事	大宮 正
理事	立石 義雄	監事	西田 憲司
理事	谷野 作太郎		

理事長1名 副理事長1名 常任理事1名 理事12名 監事2名 計17名 (平成25年12月末日現在)

## 2. 評議員会及び評議員に関する事項

(1) 評議員会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第22回評議員会	平成25年3月21日 午前11時～12時 会館510会議室	<p>第1号議案 平成24年度事業報告・決算の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第2号議案 定款の変更及び諸規程・諸規則の制定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第3号議案 評議員会運営規則に基づく評議員会議長選任の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第4号議案 任期満了となる理事7名の重任の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第5号議案 役員等候補選出委員会委員7名の重任の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>報告事項            (1) 諸規程・諸規則の制定及び改定について            (2) 会館施設拡充(ニューホール)に係る政府原案について            (3) 4月実施予定の職制・人事評価の見直しについて</p>
書面による決議	平成25年1月7日  平成25年5月30日	<p>第1号議案 公益財団法人国立京都国際会館定款の改定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第2号議案 役員等候補選出委員会規則の制定の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第1号議案 塚本 稔氏を評議員に選任の件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第2号議案 山内 修一氏を評議員に選任の件 本件は原案のとおり可決された。</p>

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
	平成25年9月24日	<p>第1号議案 塚本評議員を役員等候補選出委員会委員に選任する件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第2号議案 山下晃正氏を評議員に選任する件 本件は原案のとおり可決された。</p> <p>第3号議案 停止付き条件（評議員選任）で山下晃正氏を役員等候補選出委員会委員に選任する件 本件は原案のとおり可決された。</p>

(2) 評議員の異動

委員氏名	異動年月日
太田 昇	平成25年3月31日 辞任
星川 茂一	平成25年3月31日 辞任
塚本 稔	平成25年5月30日 就任
山下 晃正	平成25年9月24日 就任

(3) 評議員氏名

五十音順

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	明石 康	評議員	坂本 吉弘
評議員	阿南・ヴァージニア・史代	評議員	千 宗員
評議員	池坊 由紀	評議員	千 容子
評議員	井村 裕夫	評議員	塚本 稔
評議員	内海 善雄	評議員	手嶋 龍一
評議員	大倉 治彦	評議員	寺島 實郎
評議員	小倉 和夫	評議員	中尾 一和
評議員	柏原 康夫	評議員	服部 重彦
評議員	茅 陽一	評議員	松山 良一
評議員	小村 武	評議員	山下 晃正
評議員	齊藤 修	評議員	吉村 彰彦
評議員	齊藤 行巨		

評議員 計23名

(平成25年12月末日現在)

### 3. 役員等候補選出委員会に関する事項

#### (1) 役員等候補選出委員会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第1回 役員等候補選出委員会	平成25年2月4日 午後1時～2時 会館103会議室	第1号議案 任期満了を迎える理事7名の候補者の選出について 本件は原案のとおり可決された。
第2回 役員等候補選出委員会	平成25年8月23日 午前11時～12時 会館103会議室	第1号議案 塚本評議員を役員等候補選出委員会委員に選出する件 本件は原案のとおり可決された。  第2号議案 山下晃正氏を評議員候補者に選出する件 本件は原案のとおり可決された。  第3号議案 停止付き条件で山下晃正氏を役員等候補選出委員会委員に選出する件 本件は原案のとおり可決された。
書面による決議	平成25年5月7日	第1号議案 塚本稔氏を評議員候補に選出の件 本件は原案のとおり可決された。  第2号議案 山内修一氏を評議員候補に選出の件 本件は原案のとおり可決された。

#### (2) 委員の異動

委員氏名	異動年月日
明石 康	平成25年1月7日 就任
井村 裕夫	平成25年1月7日 就任
太田 昇	平成25年1月7日 就任
小村 武	平成25年1月7日 就任
齊藤 修	平成25年1月7日 就任
服部 重彦	平成25年1月7日 就任
星川 茂一	平成25年1月7日 就任
太田 昇	平成25年3月31日 辞任
星川 茂一	平成25年3月31日 辞任
塚本 稔	平成25年9月24日 就任
山下 晃正	平成25年9月24日 就任

#### (3) 委員氏名

役職名	氏名
委員長	明石 康
委員	井村 裕夫
委員	小村 武
委員	齊藤 修
委員	塚本 稔
委員	服部 重彦
委員	山下 晃正

委員長1名 委員6名 計7名

(平成25年12月末日現在)

## IV 庶務事項に関する事項

### 1. 施設の管理再委託契約に関する事項

当公益財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおり。

(注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結)

区分	種目	名称	数量	価格
土地	宅地		156,096.77 m <sup>2</sup>	4,897,485,158 円
立木竹	樹木		798 本	22,930,077
建物	事務所建	会議場	14,693.54 m <sup>2</sup> 37,786.48	2,189,119,764
	事務所建	展示場	4,860.69 7,976.58	452,369,785
	雑屋建	車寄	126.11 126.11	4,809,554
	雑屋建	ポンプ室	189.93 189.93	11,565,405
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩廊)	449.76 449.76	38,360,426
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩道橋)	188.24 188.24	43,510,685
	雑屋建	渡廊下 (既設地下鉄出入口上屋)	9.33 9.33	3,462,921
	車庫建	ごみ容器置場	16.43 16.43	355,118
	計		20,534.03 46,742.86	2,743,553,658
工作物			一式	1,751,646,246
	合計			9,415,615,139

### 2. 休館日に関する事項

平成25年度中に、次の日を休館とした。

1月 1日（火）～ 4日（金）	4日間	年始休館
8月 12日（月）～ 14日（水）	3日間	臨時休館
12月 24日（火）～ 25日（水）	2日間	電気点検休館
12月 28日（土）～ 31日（火）	4日間	年末休館

### 3. 事務局職員に関する事項

区分	男	女	合計	前年度
館長(常任理事)	1	0	1	1
事務局長	1	0	1	1
副事務局長	1	0	1	1
総務・企画部	7	7	14	14
施設部	6	0	6	6
営業推進部	13	7	20	22
合計	29	14	43	45

(平成25年12月末日現在)

### 4. 組織改正に関する事項

平成25年4月に実施した主な組織改正は、以下のとおりである。

#### 【総務・企画部】

企画事業室の設置：自主企画事業の充実を図るため、広報企画課より改編し、広報及び自主企画の両業務を行うこととした。

#### 【営業推進部】

営業課の設置：運営1課2課を統合し、営業第1課第1係・第2係とし、より積極的な誘致活動を推進していくこととした。  
業務支援課を営業第2課とし、会議担当も行うこととした。

営業企画課の設置：マーケティング及び誘致戦略の強化、会議運営手法の改善やサービス向上を図るため、新設した。

営業管理の設置：顧客管理を充実させるため、予約受付係を発展させた。

## 5. 許認可及び規程整備に関する事項

平成25年度の主な規程の制定及び改定状況は、以下のとおりである。

### (1) 理事会・評議員会関係

- 「公益財団法人国立京都国際会館定款」の改定
- 「理事会運営規則」の制定
- 「評議員会運営規則」の制定
- 「理事の職務権限規程」の制定
- 「監事監査規程」の制定
- 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の制定

### (2) 会館管理運営関係

- 「公益財団法人国立京都国際会館管理規則」の改定
- ※使用規則は平成26年3月に改定予定

## 6. その他

- (1) 平成25年10月、公益法人移行（認定）後、監督官庁である内閣府による初めての立入検査が実施された。業務運営全般に亘る検査の結果、法令違反等はなかった。
- (2) 平成25年12月、契約内容等の審査を目的として、館長をヘッドとする「調達審査委員会」を設置した。

## V 法人の課題

### 1. 施設拡充に関する事項

近年の大型化する国際会議に対して、既存施設では手狭となり、スペース不足を補うため、多目的展示施設を早急に整備していただけるよう、かねてより要望してきたが、今般、来年度政府予算案において整備に向けた調査費及び設計費が計上された。

これを受け、誘致・運営・サービス体制、収支規模、独自事業等について国際会館が目指すべき将来像である「中長期構想」を策定し、目標とする姿を明確にするとともに、その実現に向けて鋭意取り組んでいかなければならない。

#### <政府予算案>

展示ホール(2,000m <sup>2</sup> )を主要施設とする多目的展示施設(地上2階建、延べ床面積約4,000m <sup>2</sup> )	
調査費（平成26年）及び設計費（平成26～27年）	1.5億円
工事費（平成27～30年）	31.5億円
合計	33.0億円

## VI 収支状況

### 1. 平成25年度収支状況について

#### (1) 収 入

平成25年度の収入については、RoomAを中心とする耐震改修工事（7月6日～10月20日）の影響で会場使用料収入が大幅に減少し、経常収入の合計は1,234百万円（前年度比で452百万円の減少）となったが、工事の影響の少ない施設を中心に誘致活動を展開する等収入増に取り組んだ結果、予算比では53百万円の增收となった。

#### (2) 支 出

平成25年度の支出については、電話交換業務の廃止や、年間委託契約費の見直しにより、委託費を前年度比で41百万円削減する等経費節減に努め、経常費用の合計は1,331百万円（前年度比で260百万円の減少、予算比では44百万円の減少）となった。

上記の結果、経常収支は97百万円の損失（前年度比で192百万円の減少、予算比で97百万円の増加）となった。

### 2. 収支改善に向けた主な取組みについて

#### (1) 収入の増加

工事情報の迅速・正確な把握により台帳管理の徹底を図り、工事の影響の少ないアネックスホール・イベントホールを中心に積極的な誘致活動を展開し、使用料収入で予算比17百万円の增收（25件増）を実現した。

#### (2) 支出の削減

会場設営、清掃、館内案内（受付・クローケ）、警備、電気機械保守等の年間委託契約費を各10%程度減額し、前年度比35百万円を削減。

7月より電話交換業務の委託を廃止し、前年度比6百万円を削減。

事務印刷費等、その他経費で前年度比3百万円を削減するなど、経費削減に努めた。

## VII 監査報告

### 1. 監事による監査報告について

平成25年1月1日から平成25年12月31までの事業年度の理事の職務の執行について、平成26年2月27日、大宮監事と西田監事に監査して頂いた。その方法及び結果は、次のとおり。

平成26年 2月27日

## 監査報告書

公益財団法人国立京都国際会館  
理事長 稲 盛 和 夫 殿

監事

大 富 正



監事

西 田 宏 可



私たち監事は、平成25年1月1日から平成25年12月31までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査意見

#### (1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。